

衝突警報装置

XLAS-505

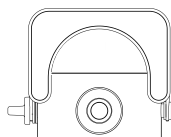
型式	機能
XLAS-505	車線逸脱警報 / 前方車間距離警報 / 前方衝突警報 / 低速時前方衝突警報 / 前方車発進検知 / 標識認識 / 歩行者衝突警報

- 本製品の取り付け・配線は専門の技術が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店でご確認のうえ、指定の取付店で行ってください。
- 衝突警報装置を使用するには、警報する条件の設定をする「セットアップ」の作業が必要です。取り付け後にユーザーによって設定を変更することはできません。詳しくは、取り付ける前にお買い上げの販売店、指定の取付店にご確認ください。
- 本書は取付店にお渡しいただき、取り付け完了後は大切に保管してください。
- 取り付ける車両によっては、本製品が取り付けられない場合があります。詳しくは、お買い上げの販売店、指定の取付店にご相談ください。

作業の進めかた

● 内容物の確認	1	● 設置用プログラムで設定すること	12
● 安全上のご注意	2	● 設置用プログラムで設定する	13
● 取り付け手順	5	● 設置用プログラムの説明	14~21
● 接続配線図	6	● テスト走行	22
● 接続のしかた	7	● Q&A	23
● 取り付け前の注意	8		
● 取り付け方法	9		

〈内容物の確認〉



カメラ ×1
(両面テープ付きブラケット)



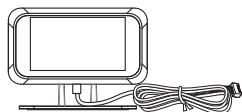
ケーブルハブ ×1



メイン電源ケーブル ×1



車両信号ケーブル ×1



モニター ※
(モニタースタンド)

取扱説明書 ×1

取付説明書 ×1



保証書 ×1

・ 設置用プログラム CD-ROM

当社認定の取り付け業者様へ
配布しています。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



禁止 : してはいけない内容です。



指示 : 実行しなければならない内容です。



警告・注意 : 気をつけていただく内容です。



分解禁止 : 分解してはいけない内容です。

警告

取付説明書に従って、取り付けや配線をする



作業は手順通りに正しく行ってください。火災や故障の原因となります。

取り付けには車両の保安部品のボルトやナットを絶対に使用しない



ステアリングやブレーキなどの保安部品のボルトやナットを使用して取り付けると、事故の原因となります。

運転や視界を妨げたり、同乗者に危険をおよぼす場所には、絶対に取り付けない



『道路運送車両法に基づく保安基準』を厳守してください。
運転に支障をきたす場所（シフトレバー、ブレーキペダル付近など）、前方・後方の視界を妨げる場所、同乗者に危険をおよぼす場所への取り付けは、交通事故やけがの原因となります。

作業前に、必ずバッテリーの

⊖端子を外す



外さずに作業すると、ショートによる感電やけがの原因となります。

警告

機器内部に、水や異物を入れない



金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電、故障の原因となります。
飲み物などがかからないようにご注意ください。

ケーブル類は、運転や乗り降りの妨げにならないように引き回す



ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておくなどしてください。
事故やけがの原因になります。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめる



車の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど)が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。

DC12 /24V マイナス⊖アース車で使用する



DC12 /24V マイナス⊖アース車専用です。上記以外の車には使用できません。
火災や故障の原因となります。

車のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認して取り付ける



車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線に干渉や接触しないようにしてください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を施してください。火災や感電、事故の原因になります。

分解や改造はしない



内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

- 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

故障や異常のまま使用しない



煙が出る、変なにおいがする等の異常な状態で使用すると発火などの原因となります。

- 直ちに使用を中止してお買い上げの販売店にご相談ください。

運転者は走行中に操作をしない また、画像・表示を注視しない



走行中の操作や画像・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。
必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。

注意

●取り付けや配線をするとき

取り付け（取り外し）や配線は、 専門技術者に依頼する



誤った取り付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがありますので、お買い上げの販売店にご依頼ください。

カメラは、しっかり取り付ける



取り付け場所の汚れ・ワックスなどをふき取り、確実に固定してください。ときどき取り付けの状態（接着など）を点検してください。交通事故やけがの原因となります。

水のかかる場所や湿気・ほこり ・油煙の多い場所に取り付けない



水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となります。

ケーブルを破損しない

断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。



- 傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものを載せる、熱器具へ近づける、車の金属部や高温部に接触させるなどしない。
- 車体やねじ・可動部（シートレールなど）へ挟み込まないように引き回す。
- ドライバーなどの先で押し込まない。

必ず、付属品や指定の部品を使用する



機器の損傷や確実に固定できず、事故や故障、火災の原因となります。

取り付け手順

取り付け手順を確認する

下記手順を参考に取り付けを行なってください。

車両にケーブル類を配線する



車両に本製品を取り付ける



設置用プログラムで設定する



走行して動作を確認する



終了 ・ 衝突警報装置設置確認票の記入と提出

準備するもの

箱に入っている内容物を確認して以下の準備をしてください。

- 作業に必要な工具類
ワイヤーストリッパー / 各種ドライバー / ラジオペンチ / メジャー / テスター / 絶縁テープ / カシメ部品等
- 設置用プログラムCD-ROM
- 専用miniUSBケーブル (B Type)
- 車両に持ち込んで設定できるパソコン (ノートパソコンなど)

接続配線図



注意

車体からの信号の接続は、車種やグレードにより異なり専門の知識が必要になります。取り付けはお買い上げの販売店または、指定の取付店にご依頼ください。接続しない端子などは、ビニールテープ等で絶縁処理をしてください。

取り付け（取り外し）や配線は、専門技術者に依頼する

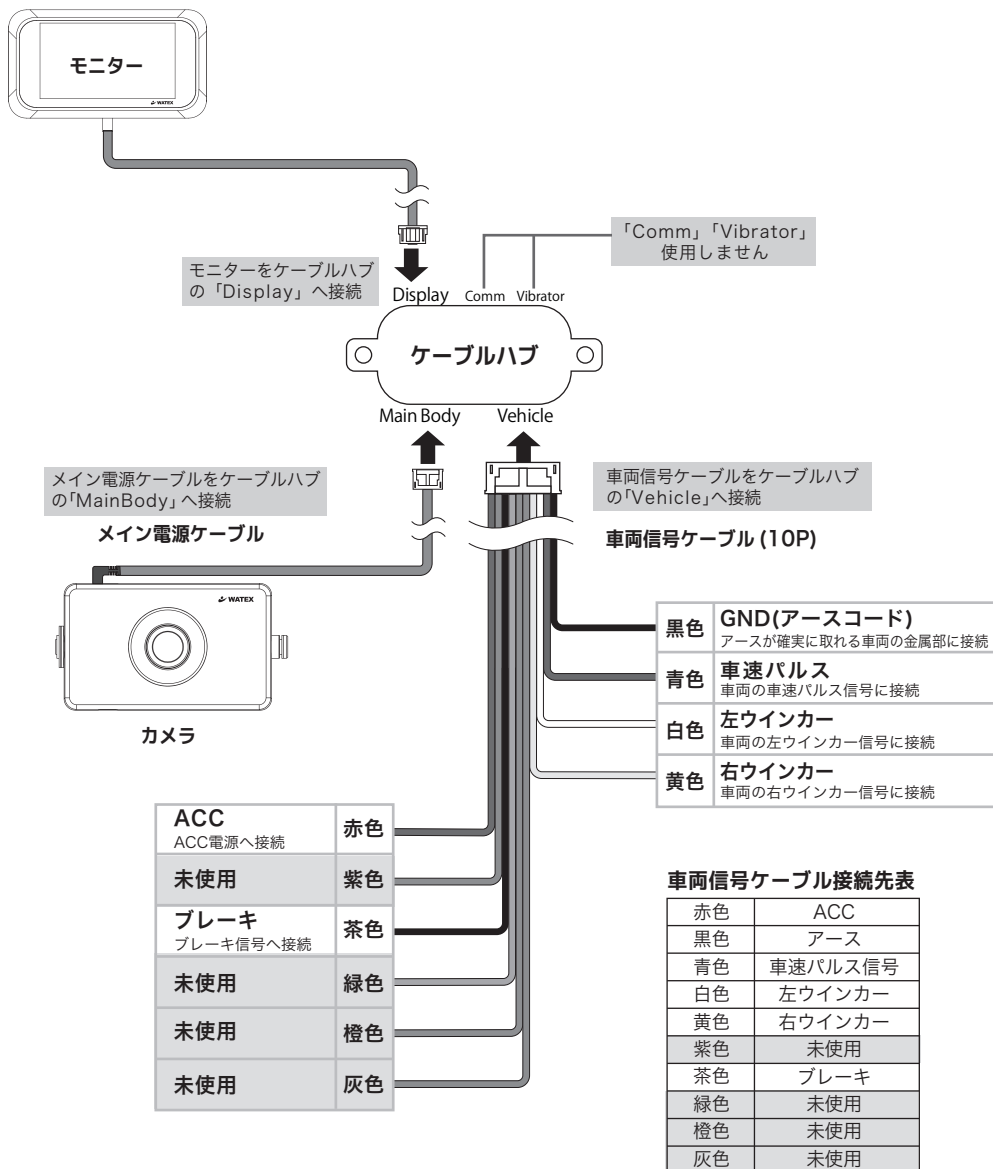


誤った取り付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがありますので、お買い上げの販売店にご依頼ください。

必ず、付属品や指定の部品を使用する



機器内部の部品が損傷したり、しっかりと固定できずに外れたりすることがあり危険です。



接続のしかた

- 作業に必要な以下の工具類を準備してください。

ワイヤーストリッパー / 各種ドライバー / ラジオペンチ / メジャー / テスター / 絶縁テープ / カシメ部品等

- ❗配線を取り付ける際は、不用意にショートすることを防止する為にバッテリーのマイナスアースを必ず外してから実施してください。
 - ❗配線を取り付ける際は、芯線に傷をつけないように注意し、カシメ接続などにより外れないように接続してください。市販のエレクトロタップは推奨しません。
 - ❗金属部分が露出したままでは、重大事故に繋がる恐れがあるので、接続箇所はビニールテープを巻き、絶縁を行ってください。
 - ❗ケーブル類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておいてください。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくと事故の原因となり危険です。
- 詳しくは、各車両の配線図を確認して配線してください。

ACC 電源に接続する

車両信号ケーブル(10P)のACC 線 (赤色) をイグニッションキー (鍵) がACC 位置で電圧が12V (24V 車の場合は24V) 、OFF の位置で必ず0Vになる車両の配線に接続します。

アース線を接続する

車両信号ケーブル(10P)のアース線(黒色)を車両アースボルトへ確実に取り付けてください。



- ・アースボルトとアース線の間に樹脂などを挟んでいると動作が不安定になることがあります。車両鉄板部に確実に共締めしてください。
- 注意 ・アース箇所が塗装されている場合、塗装を剥がして接続を行なってください。

車速パルス信号線の接続

車両の車速信号線と車両信号ケーブル(10P)の車速パルス信号線 (青色) を接続します。

※ 車速信号配線情報については、指定の取付店などへお問い合わせください。

ウインカー線の接続

車両のウインカーと連動し、12V ⇔ 0V(24V 車の場合は24V ⇔ 0V) になる線と、車両信号ケーブル(10P)の左ウインカー線 (白色) と右ウインカー線 (黄色) を接続します。

※ 車両ウインカー線情報については、指定の取付店などへお問い合わせください。

ブレーキ信号線の接続

車両のブレーキ信号線と車両信号ケーブル(10P)のブレーキ信号線 (茶色) を接続します。※ブレーキ信号配線情報については、指定の取付店などへお問い合わせください。

取り付け前の注意

【取り付けイメージ】



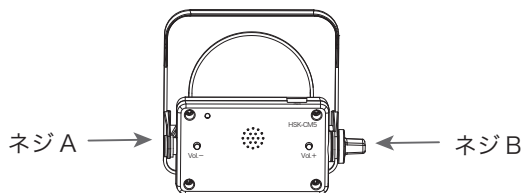
⚠ 注意

- 油分、水滴等の貼り付け面の汚れをきれいに拭き取ってからテープを貼ってください。汚れが付いているとテープの粘着力が弱くなり、走行中に剥がれる恐れがあります。市販のガラスクリーナー等で拭き上げてから貼ってください。
- 気温が低いと粘着力が弱くなります。冬季の寒い時期に取り付ける際はドライヤー等を使用して、粘着面を暖めてから貼ってください。なお、本体にはドライヤー等をかけないでください。
- 雨天や霧、梅雨の時期など湿度が高いときはテープに湿気が付着し、テープの粘着力が弱くなる場合があります。できるだけ好天候の日に取り付けてください。
- 付属の両面テープは粘着力が強いため、一度貼り付けたテープはなかなか剥がれません。貼り直しないで済むように取り付け位置は慎重に決めてください。
- 貼り付けが完了したら、ブラケットをしっかりと押さえつけて気泡等の貼りムラが無いか確認してください。貼りムラがあると、その部分から水分等が入り走行中に剥がれる恐れがあります。必ずガラスの裏側から気泡等が無いか確認してください。
- ブラケット取り付けが完了してから24時間はできるだけ車を動かさないでください。振動により粘着面に空気が入り込むと粘着力が弱くなります。
- 本製品の設置作業は必ず平らな場所で行ってください。ニュートラルで車が動いてしまうような傾斜地での作業は絶対に行わないでください。
- 取り付け位置は車両フロントガラス上部で、運転者の視界を遮らない位置に取り付けてください。またルームミラーを動かしても本製品に当たらない位置に取り付けてください。

取り付け方法

【カメラを取り付ける】

1. 付属のネジで角度を調整する

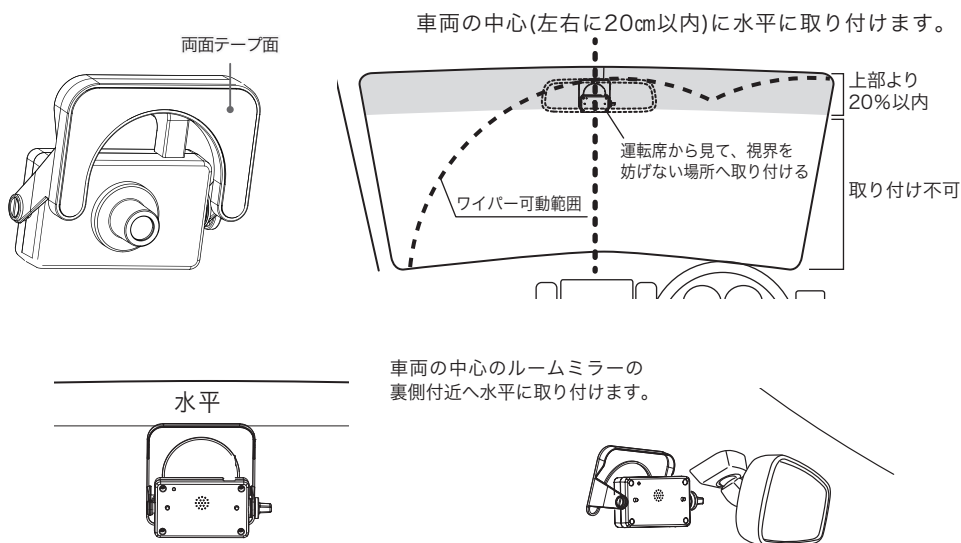


ネジAはマイナスドライバーを用いて固定してください。ネジBは軽く仮止めしてください。
(ブラケット取り付け後、角度調整が完了した際に本締めします)

2. 両面テープを剥がして窓ガラスに貼り付ける

取り付け完了後、設置用プログラムで設定してください。

■ カメラ取り付け位置



- ・ ルームミラー裏側への取り付けは、道路運送車両法に基づく保安基準により設置場所が限定されています。運転者の視界の妨げにならないように、フロントガラス上部より20%以内のルームミラー裏側へ設置してください。その際ミラーと干渉しない位置に取り付けしてください。
- ・ ワイパーの可動範囲に取り付けてください。範囲外に取り付けるとフロントガラスの汚れ、雨天時の水滴などによりカメラの機能が低下する場合があります。
- ・ 本製品を車検シールの上に貼らないでください。
- ・ カメラレンズの範囲に、サンシェードやフィルムコーティングがかからないようにしてください。

【取り付け方法】

取り付け完了後、設置用プログラムで設定してください。

1. 取り付け面（ガラス面）の汚れを布等でキレイに拭き取ります。付属のブラケットを本体にはめ込み両面テープを剥がし、取り付けます。車外から貼付け面にムラがないことを確認します。

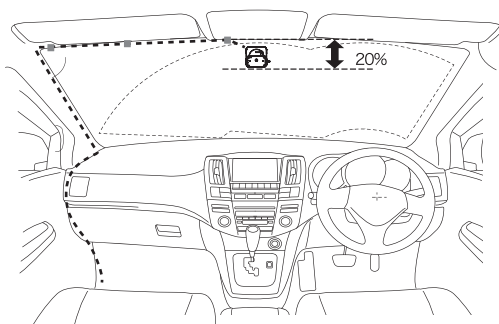
※ 車体の中心に水平に取り付けを行わないと検出に悪影響が及ぶ可能性があります。

2. メイン電源ケーブルをケーブルハブ（MainBody）に接続し、運転の支障にならないように配線してください。

- ケーブルを強く引っ張ったり、負荷をかけたり、かみこんだりしないようにしてください。
- ケーブルは、お持ちの固定テープやクランプ等の固定部材を使用して確実に固定してください。

【配線上の注意】

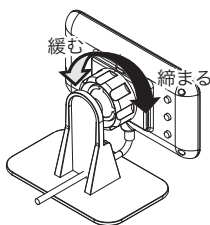
- ・ クランプ等を用い、右図のように適当な間隔で配線を固定してください。
- ・ ドアに挟まる位置や乗員の足元等には配線しないでください。（断線の原因となります）
- ・ 運転に支障が生じますので、車内に配線を垂れ下げるようなことはおやめください。



【モニターを取り付ける】

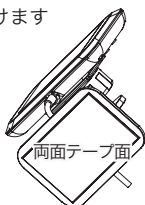
モニタースタンドのダイヤルで角度を調整する

1. ダイヤルを緩めて調整し、締めて固定してください。



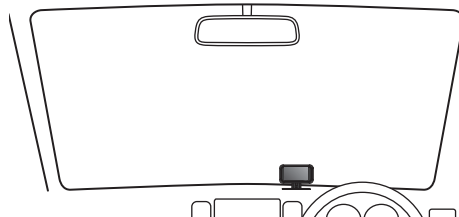
両面テープを剥がしてダッシュボードへ貼りつける

2. モニタースタンドの底の両面テープを剥がして取り付けます



貼り付け位置は下記を参照してください。

モニターをダッシュボードへ取り付ける



※フロントガラスからカメラ撮影部へ影が映りこまないように取り付けてください。

■モニター取り付け位置

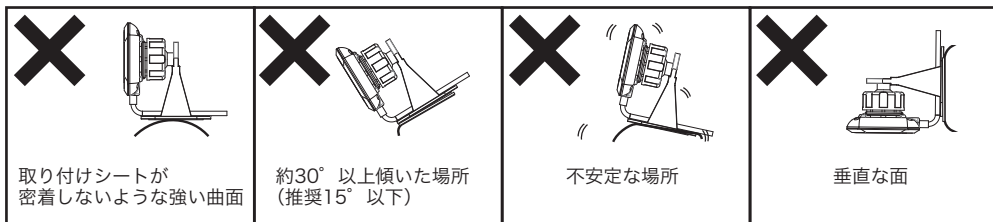
・ダッシュボード上へ取り付ける場合は、道路運送車両法に基づく保安基準に適合させるため、運転や視界の妨げにならない場所に取り付けてください。

※道路運送車両の保安基準第 21 条（運転者席）、細目告示第 27 条および別添 29

- ・自動車の機能（エアバッグ等）の妨げにならない場所に取り付けてください。事故やけがの原因となります。
- ・ダッシュボードの形状や素材によっては貼り付きにくい場合があります。また、経年劣化等により両面テープを剥がす際に破損する恐れがありますのでご注意ください。

必ずダッシュボードの平らな面にしっかり取り付け、安定させてください。

下記のような場所には絶対に取り付けしないでください。落下する原因になります。



前面ガラスおよび側面ガラス（運転者席の左右）への取り付けは、保安基準第 29 条に不適合となりますので、絶対におやめください。

設置用プログラムで設定すること

カメラとモニターを設置して電源が入ることを確認したあとにカメラとノートパソコンを接続し、衝突警報装置の警報音の設定、警報のタイミング、感度、機能する時速の設定などをします。設定後は、ユーザーによって設定を変更できませんので、取り付ける前に十分に確認して作業してください。

- 設置する前にユーザーに設定値を必ずご確認ください。
- 取り付け後、設定値をユーザーが変更できないことをご説明して取り付けてください。

Install 衝突警報装置が正しく機能するために最も重要な設定です。

1. カメラの地上からの高さ、車幅、カメラ位置（中央からの距離）を入力
2. カメラのアングルをプログラム画面で調整
3. ウィンカー線・ブレーキ線の設定、接続確認
4. 車速パルスの設定入力（取り付ける車種の車速パルス数を確認してください。）

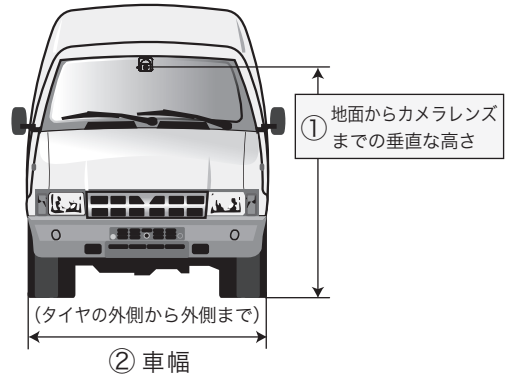
【設定の前に必要なこと】

1. カメラの位置、車幅の測定

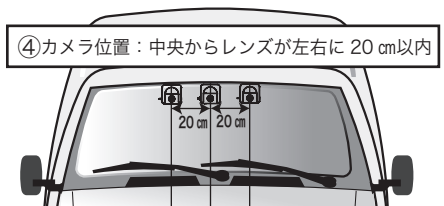
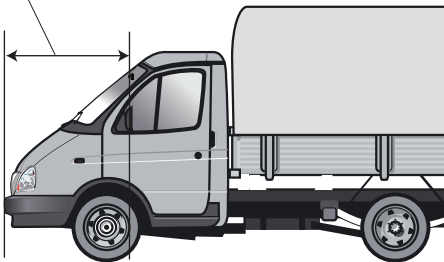
以下の長さをメジャーなどで測定してください。

- ①地面からカメラレンズまでの垂直な高さ
- ②車幅（タイヤの外側から外側まで）
- ③カメラから前方バンパーまでの水平距離
- ④車体中央からカメラのレンズまでの距離

※平らな場所で測定してください。



- ③カメラから前方バンパーまでの水平距離



2. ソフトをインストールした車内に持ち込めるパソコンの用意

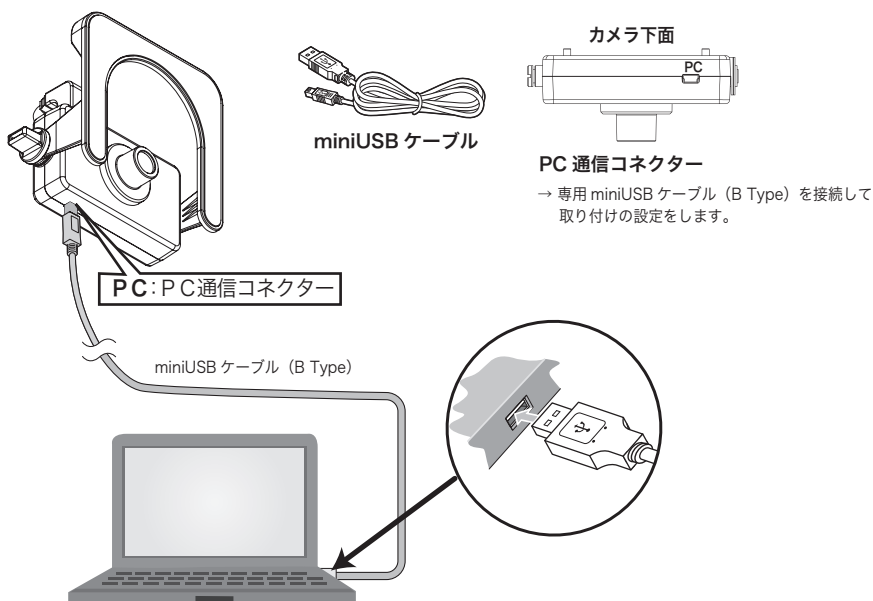
設置用プログラム※と USB ドライバーをインストールしたノートパソコンを用意してください。（オプションの専用 miniUSB ケーブルも用意してください）

※設置用プログラムは認定された取り付け業者様へ配布しています。

設置用プログラム (WATEX ADAS MANAGER) で設定する

【カメラをパソコンに接続する】 ※設置用プログラムを起動する前にパソコンとカメラ本体を下記のとおり接続してください。

1. カメラの下面のPC通信コネクタに専用 miniUSB ケーブル (B Type) を接続し、パソコンに繋げます。



2. パソコンと接続したカメラの電源が入っている状態で設置用プログラムを起動します。

(自動車のエンジンキーが ON、または ACC の位置になっている状態)



車両に設置した衝突警報装置の電源を入れた状態で「WATEX_ADAS_Manager.exe」をダブルクリックします。

[PC 接続] をクリックすると、各種設定が可能になります。

PC
接続



起動した画面

設置用プログラムの説明

[PC 接続] をクリックしてパソコンに接続するとプログラムが使用できます。
使用する項目は以下の通りです。



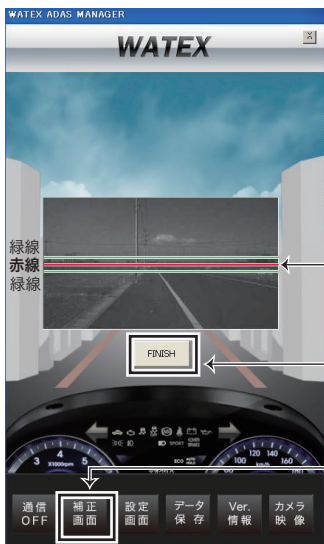
項目の説明

- PC 接続** パソコンへ接続します。
- 補正画面** 衝突警報装置の取り付け位置を設定します。
- 設定画面** 各項目の設定値を入力し設定します。
- データ保存** 警報回数を取り出してエクセルで保存します。
- Ver.情報** カメラのシリアルナンバー / 製造年月日
設置用プログラムのバージョン情報を確認します。
- カメラ映像** カメラの映像を表示します。

【補正画面】：取り付け位置設定

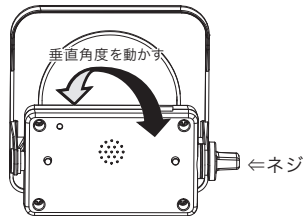
補正画面

[補正画面] クリックで衝突警報装置の取り付け位置を補正し決定します。



【補正画面】：取り付け位置設定は車両が平らになる直線道路で行ってください。

- 1 取り付けたカメラの垂直角度を動かして補正画面の赤線を地平線に合うように調整します。
- 2 地平線（消失点）に赤線を合わせます。緑線の間であれば調整 OK です。
- 3 補正完了時、ネジを締めて固定し、[FINISH] ボタンをクリックします。
- 4 [補正画面] をクリックし、補正モードを終了します。



【設定画面】：警報音の設定、警報のタイミング、感度、機能する時速の設定など

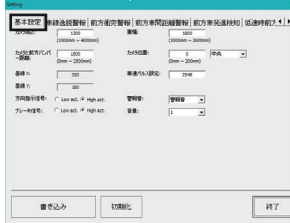


設定画面

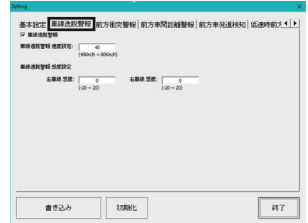
[設定画面] クリックで以下の設定を行います。

設定画面には、以下の 8 つの項目があります。

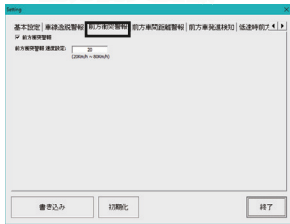
1. 基本設定



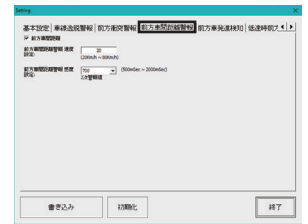
2. 車線逸脱警報



3. 前方衝突警報



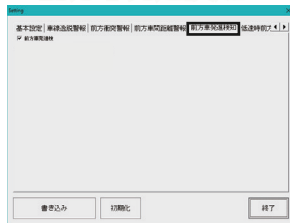
4. 前方車間距離警報



設定画面の詳細は、次ページより説明

- 1. 基本設定 16 ページ
- 2. 車線逸脱警報 18 ページ
- 3. 前方衝突警報 18 ページ
- 4. 前方車間距離警報 19 ページ
- 5. 前方車発進検知 19 ページ
- 6. 低速時前方衝突警報 20 ページ
- 7. 標識認識 20 ページ
- 8. 歩行者衝突警報 20 ページ

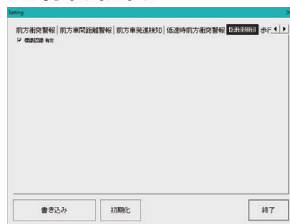
5. 前方車発進検知



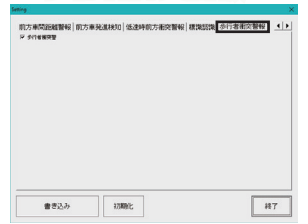
6. 低速時前方衝突警報



7. 標識認識



8. 歩行者衝突警報



【設定画面】 1. 基本設定

[基本設定] 設定値を入力して「書き込み」をクリックすると設定が反映します。
「終了」をクリックで画面を閉じます。

⑤車速パルス設定値

パルス	入力値
2	1274
4	2548
8	5096
10	6370
16	10192
20	12740
25	15925

①カメラ高さ：地面からカメラレンズまでの垂直な高さを入力 (1000～4000 mm) 右ページ図参照

②車幅：タイヤの外側から外側までの車幅を入力 (1000～2600 mm) 右ページ図参照

※カメラの位置を中央からずらした場合、車幅の入力を以下の計算式で計算して入力してください。

(例)1800 mmの車幅を右に200 mmずらして取り付けた場合は1400と入力してください。

$$\text{車幅補正計算式} : (\text{車幅} / 2 \text{ [右]} - \text{中心からの距離}) \times 2 \quad \begin{matrix} \text{※} \\ \text{※右側にずれて取り付けの場合は-} \\ \text{左側にずれて取り付けの場合は+} \end{matrix}$$

$$(1800/2 - 200) \times 2 = 1400$$

③カメラ前方バンパー距離：カメラから前方バンパーまでの水平距離※(0～2500 mm) 右ページ図参照
※水平距離は安全性を考慮し、実測値にかかわらず2500 mmを推奨します。

④カメラ位置：中央(中心)0 mm、左右にずらした場合、中心からの距離を入力(0～200 mm) 右ページ図参照

⑤車速パルス設定：車速パルス設定値を確認して入力 ※上記、車速パルス設定値を参照

⑥方向指示信号：Low または High を選択

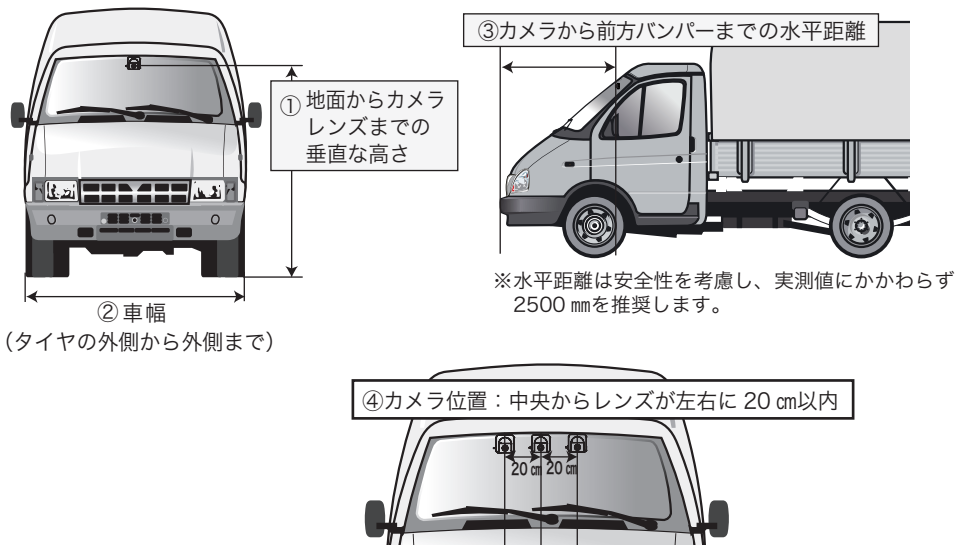
⑦警報音：3種類から選択(警報音、音声、警報音&音声) 右ページ表(警報音選択について)参照

⑧ブレーキ信号：Low または High を選択

⑨音量：音量を設定(カメラ本体のVolボタンでも変更できます)

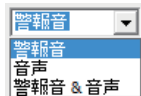
【設定画面】 1. 基本設定

図：基本設定の入力 ①～④



警報音選択について

警報音の種類：[基本設定]の⑦警報音では以下の3つから選択可能です。



Ⓐ 警報音 または ① 音声 または ㉞ 警報音 + 音声

※音声の設定が可能な警告方法 (*設定できない警報もあります。)

音声選択	Ⓐ 警報音	① 音声	㉞ 警報音 + 音声
車線逸脱警報	ルルルル	右(左)車線にご注意ください。	ルルルル 右(左)車線にご注意ください。
前方車間距離警報 車間距離が設定値以下になったとき	ピーン	前方にご注意ください。	ピーン 前方にご注意ください。
低速時前方衝突警報	ピッピッピッ	前方をご確認ください。	ピッピッピッ 前方をご確認ください。
前方車発進検知	ピンポーン	前方をご確認ください。	ピンポーン 前方をご確認ください。
歩行者衝突警報	ピーピー	前方をご確認ください。	ピーピー 前方をご確認ください。

音声の設定ができない警告方法

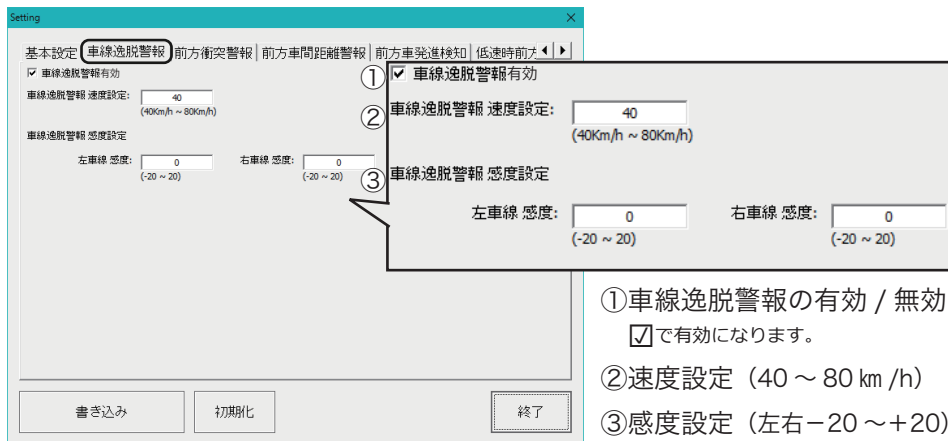
1. 前方車間距離警報 (衝突までの時間が0.4秒以下のとき)：ピビビビビビ
2. 前方衝突警報：ピビビビビビ (警報継続)
3. 標識認識：ピッピッ

【設定画面】 2. 車線逸脱警報

[車線逸脱警報] のタブを選択します。

設定値を入力して「書き込み」をクリックすると設定が反映します。

「初期化」をクリックすると初期設定値に戻ります。「終了」をクリックで画面を閉じます。



Setting

基本設定 | **車線逸脱警報** | 前方衝突警報 | 前方車間距離警報 | 前方車発進検知 | 低速時前次

車線逸脱警報有効

① 車線逸脱警報有効

② 車線逸脱警報 速度設定: 40 (40Km/h ~ 80Km/h)

③ 車線逸脱警報 感度設定

左車線 感度: 0 (-20 ~ 20) 右車線 感度: 0 (-20 ~ 20)

左車線 感度: 0 (-20 ~ 20) 右車線 感度: 0 (-20 ~ 20)

書き込み 初期化 終了

①車線逸脱警報の有効 / 無効
で有効になります。

②速度設定 (40 ~ 80 km /h)

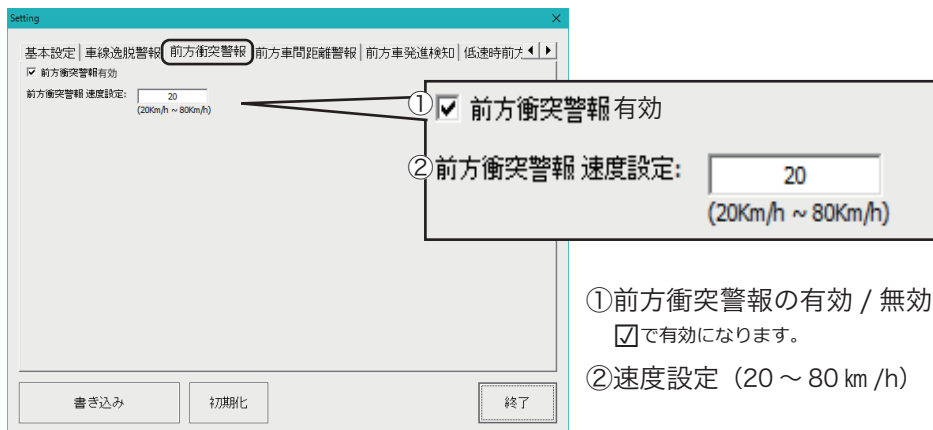
③感度設定 (左右-20 ~ +20)

【設定画面】 3. 前方衝突警報

[前方衝突警報] のタブを選択します。

設定値を入力して「書き込み」をクリックすると設定が反映します。

「初期化」をクリックすると初期設定値に戻ります。「終了」をクリックで画面を閉じます。



Setting

基本設定 | 車線逸脱警報 | **前方衝突警報** | 前方車間距離警報 | 前方車発進検知 | 低速時前次

前方衝突警報有効

① 前方衝突警報有効

② 前方衝突警報 速度設定: 20 (20Km/h ~ 80Km/h)

前方衝突警報 速度設定: 20 (20Km/h ~ 80Km/h)

書き込み 初期化 終了

①前方衝突警報の有効 / 無効
で有効になります。

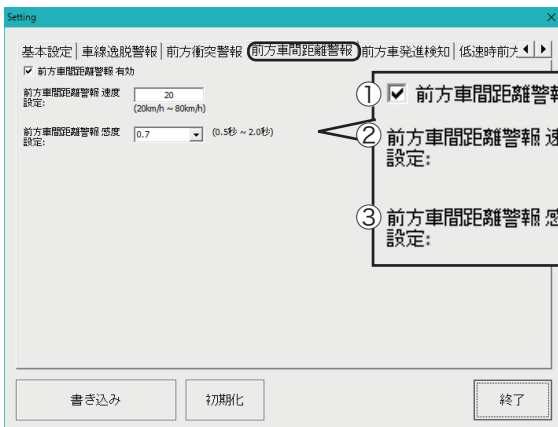
②速度設定 (20 ~ 80 km /h)

【設定画面】 4. 前方車間距離警報

[前方車間距離警報] のタブを選択します。

設定値を入力して「書き込み」をクリックすると設定が反映します。

「初期化」をクリックすると初期設定値に戻ります。「終了」をクリックで画面を閉じます。



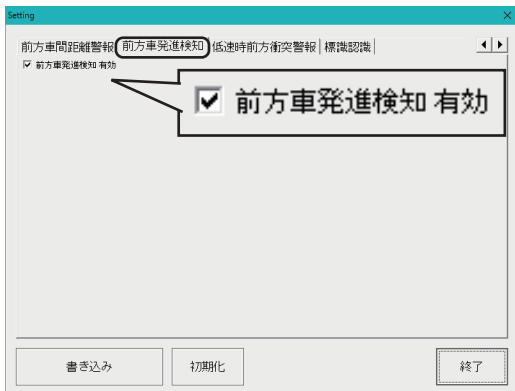
- ① 前方車間距離警報の有効 / 無効
 で有効になります。
- ② 速度設定 (20 ~ 80 km / h)
- ③ 感度設定 (0.5 秒 ~ 2.0 秒)

【設定画面】 5. 前方車発進検知

[前方車発進検知] のタブを選択します。

設定値を入力して「書き込み」をクリックすると設定が反映します。

「初期化」をクリックすると初期設定値に戻ります。「終了」をクリックで画面を閉じます。



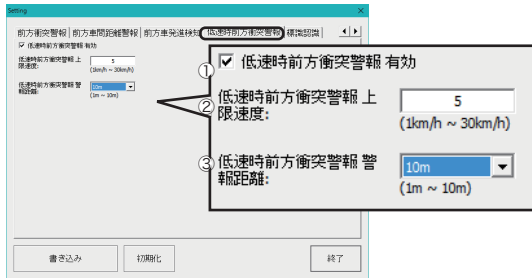
前方車発進検知の有効 / 無効
 で有効になります。

【設定画面】 6. 低速時前方衝突警報

[低速時前方衝突警報] のタブを選択します。

設定値を入力して「書き込み」をクリックすると設定が反映します。

「初期化」をクリックすると初期設定値に戻ります。「終了」をクリックで画面を閉じます。



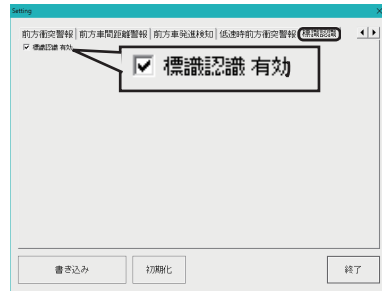
- ① 低速時前方衝突警報の有効 / 無効
☑で有効になります。
- ② 速度設定 (1 ~ 30 km/h)
- ③ 感度設定 (1m ~ 10m)

【設定画面】 7. 標識認識

[標識認識] のタブを選択します。

☑ボタン (有効または無効) を選択して「書き込み」をクリックすると設定が反映します。

「初期化」をクリックすると初期設定値に戻ります。「終了」をクリックで画面を閉じます。



標識認識の有効 / 無効
☑で有効になります。

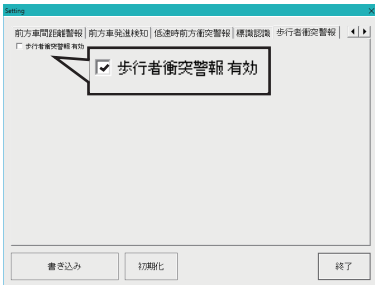
- ※速度標識 (30/40/50/60/70/80) を認識します。
- ※標識認識は、夜間に動作しません。

【設定画面】 8. 歩行者衝突警報

[歩行者衝突警報] のタブを選択します。

☑ボタン (有効または無効) を選択して「書き込み」をクリックすると設定が反映します。

「初期化」をクリックすると初期設定値に戻ります。「終了」をクリックで画面を閉じます。



歩行者衝突警報の有効 / 無効
☑で有効になります。

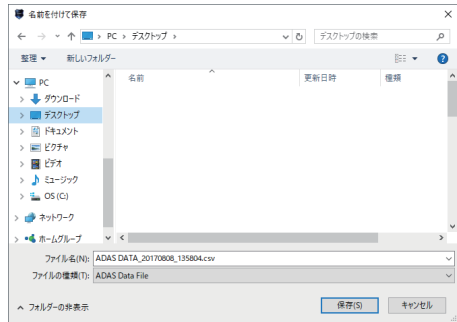
- ※歩行者衝突警報は、夜間に動作しません。

【データ保存】：警報データを CSV 保存



データ
保
存

[データ保存] クリックで警報データを CSV 保存できます。

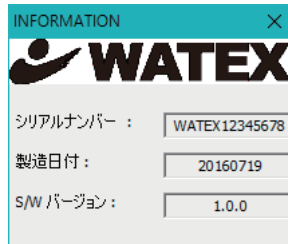


【Ver. 情報】：衝突警報装置のバージョン情報を確認



カメラのシリアルナンバーと製造年月日、
設置用プログラムのバージョン情報が確認できます。

Ver.
情
報



【カメラ映像】：カメラの映像を確認



カメラ
映
像

[カメラ映像] クリックでカメラ映像を確認できます。

現在カメラが捉えている映像が表示されます。

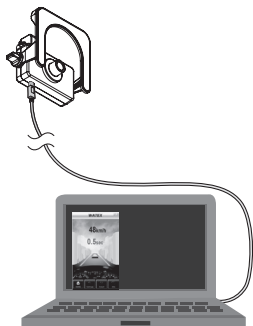
カメラ
映
像

再度、[カメラ映像] クリックで
カメラ映像画面を終了します。

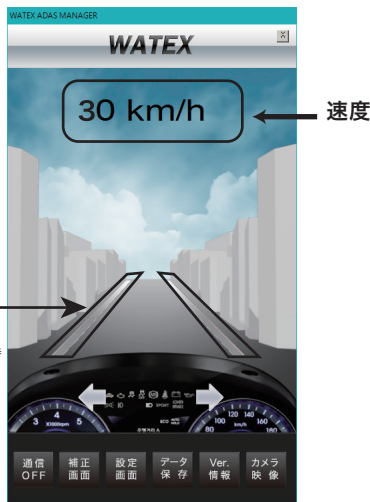
テスト走行

テスト走行をして設定どおりにモニターが表示され、警報音が鳴ることを確認してください。パソコンをつないだまま、走行して設置用プログラムの HOME 画面で車速がとれているか、速度を確認してください。

車線についても認識すると黄色にラインが変わり車線を逸脱すると赤色にラインが変わることを画面上で確認してください。



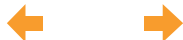
認識で黄色
逸脱で赤色
※ウィンカーを出しての車線変更時
にはラインが赤色になりません。



ウィンカー信号・ブレーキ信号の確認

16 ページ【設定画面】1. 基本設定時に下記事項を確認してください。

1. ウィンカー信号 High/Low の設定確認



- (OK) ウィンカーレバーを左に指示すると①左矢印が黄色点灯
ウィンカーレバーを右に指示すると①右矢印が黄色点灯
 - (NG) ウィンカーレバーを指示しない状態で①左右矢印が黄色点灯
- High/Low を変更して OK の状態にしてください。

2. ブレーキ信号 High/Low の設定確認

- (OK) ブレーキペダルを踏んだとき②が赤色点灯
 - (NG) ブレーキペダルを踏んでいない状態で②が赤色点灯
- High/Low を変更して OK の状態にしてください。



◆衝突警報装置設置確認票の提出

お願い

すべての取り付け、設定作業が終了したあとに、必ず「衝突警報装置設置確認票」の記入・提出をお願いします。

Q&A

Q&A

Q：音が衝突警報装置から出ません。

- ▶正しく接続されているか確認してください。電源が接続されていない場合、モニターに POWER ON が表示されず、カメラの LED がオフになっています。
- ▶設置用プログラムで、すべての機能が有効になっているかどうか確認してください。
- ▶設置用プログラムで設置条件が正しく入力されているか、カメラが水平になっているか確認してください。

Q：車線逸脱しても警報音が鳴りません。

- ▶設置用プログラムで車線逸脱警報機能が有効になっているかどうか確認してください。
- ▶設置用プログラムで設定速度を確認してください。設定された速度以下で走行している場合は機能しません。
- ▶設置用プログラムで設置条件が正しく入力されているか、カメラが水平になっているか確認してください。
- ▶悪天候の場合や建設中の道路、ライン消去道路などは、車線を認識しない場合があります。

Q：車線逸脱していないときに警報音が鳴ります。

- ▶設置用プログラムで警報感度の設定を確認してください。
- ▶悪天候の場合や建設中の道路、ライン消去道路などは、車線を認識しない場合があります。

Q：前方車に近づいても警報音が鳴りません。

- ▶設置用プログラムで前方車間距離警報、前方衝突警報、低速時前方車両警報の機能が有効になっているかどうか確認してください。
- ▶設置用プログラムで警報時間の設定を確認してください。
- ▶設置用プログラムで設定速度を確認してください。設定された速度以下で走行している場合、機能しません。
- ▶設置用プログラムで設置条件が正しく入力されているか、カメラが水平になっているか確認してください。

Q：前方車発進検知が機能しない


- ▶設置用プログラムで前方車発進検知機能が有効になっているかどうか確認してください。
- ▶車両が完全に停止していないと機能しません。
- ▶設置用プログラムで設置条件が正しく入力されているか、カメラが水平になっているか確認してください。

 **WATEX サポート窓口のご案内**

株式会社ワーテックス

お客様サポートセンター係

〒373-0004 群馬県太田市強戸町162番地13

 **0120-25-3930**

受付時間：月～金 9：00～12：00 / 13：00～18：00
(土日祝祭日・年末年始などの定休日ならびに特別休業日を除く当社営業日)

URL <http://www.watex-net.com/>